



施工計画の検討

2021年5月27日

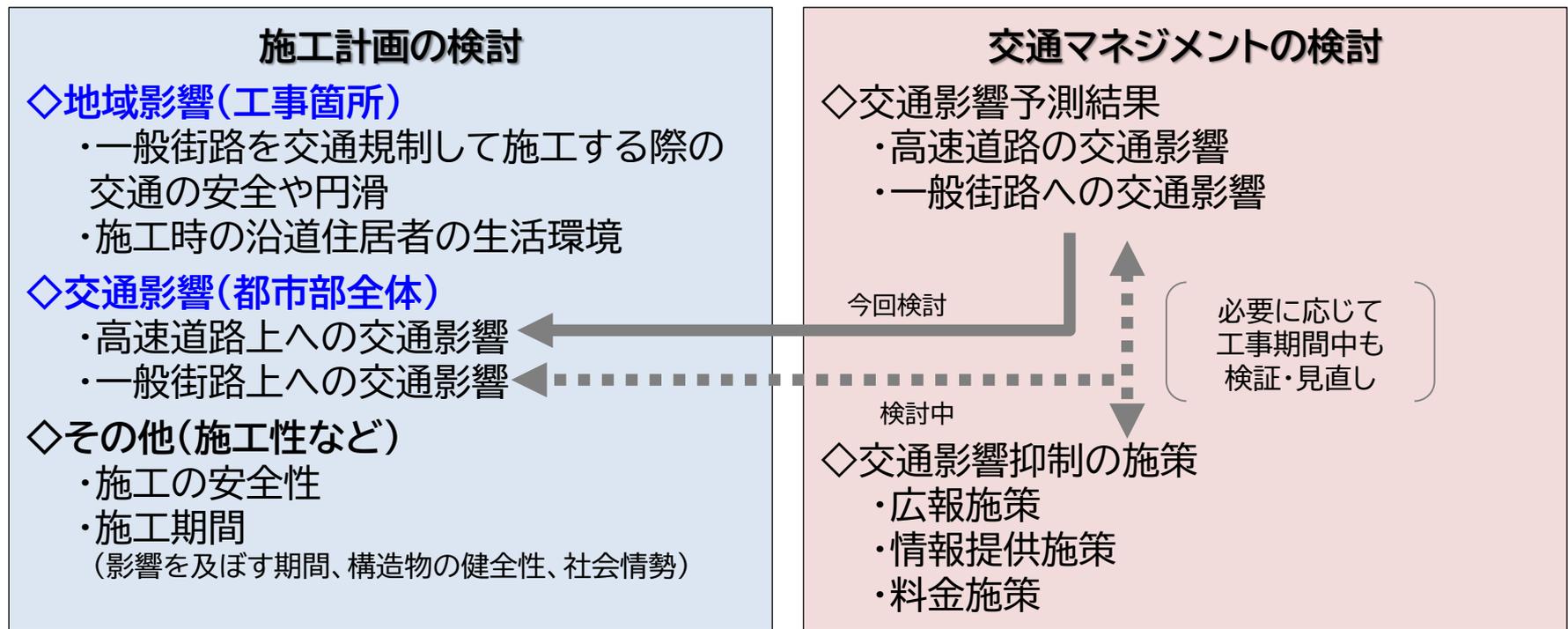
検討・評価の進め方

○大規模更新工事の実施に際しては、事業化検討段階から「実施時期」や「実施に伴う社会的影響の低減」などが課題と認識※。
※ H25.4.26 社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会(阪神高速道路(株)提出資料)

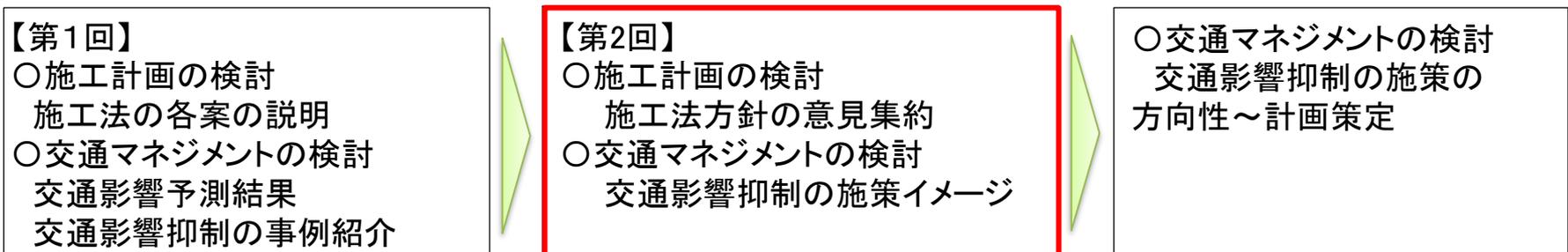
○昨年、6号大和川線が全線開通し、更新工事の交通規制等に伴う社会的(交通)影響の低減に活用しうる広域う回路が確保されたことから、当該橋梁の架け替えに着手すべく、詳細検討。

○詳細な調査検討を進めてきたが、大阪都市部全体への交通影響だけでなく、**工事箇所周辺への地域影響低減**も重要な課題であることを再認識。こうした観点で、複数の施工法を検討・評価。

検討・評価方法



進め方



○ 前回検討会において、頂いたご意見を踏まえて、以下のとおり、検証・検討などを実施。

おもなご意見		対応
施工計画の検討	<input type="checkbox"/> 地域の影響について、各案において影響度合いが違うのではないかと。	<input type="checkbox"/> 各案の施工中の地域への影響が判る図面を追加
	<input type="checkbox"/> 瓜破交差点の改良などハード系の対策も必要な可能性があるのではないかと。	<input type="checkbox"/> 瓜破交差点の概況図を追加。
交通マネジメントの検討	『交通マネジメント検討』に記載	

施工方針の取りまとめは、以下の観点から検討する

- ① 地域影響(工事箇所): 『沿道(住居・店舗)』からの車道へのアクセス
- ② 地域影響(工事箇所): 『歩行者・自転車』交通の安全・円滑の確保
- ③ 交通影響(都市部全体): 『自動車交通(高速道路・一般道)』
- ④ 『工期』

【目次】

1. 地域影響について（沿道、歩行者・自転車）
2. 交差点概要図
3. 各工法の工程比較

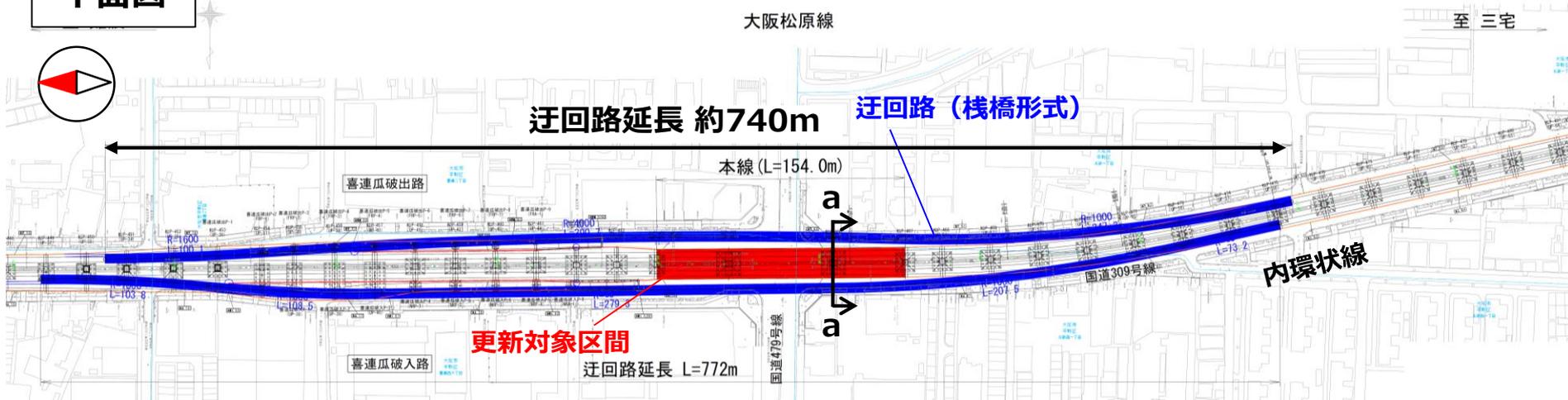
【目次】

1. 地域影響について（沿道、歩行者・自転車）
2. 交差点概要図
3. 各工法の工程比較

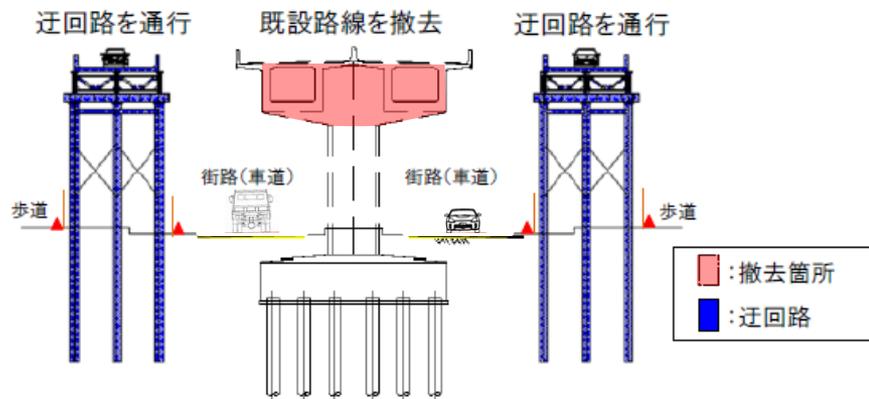
①迂回路案の概要

○街路および歩道上に**栈橋形式で片側1車線の迂回路（上下線）**を構築し、高速道路の通行を確保した状態で、**更新対象区間を撤去、再構築**する。

平面図



断面図 a-a



栈橋形式のイメージ

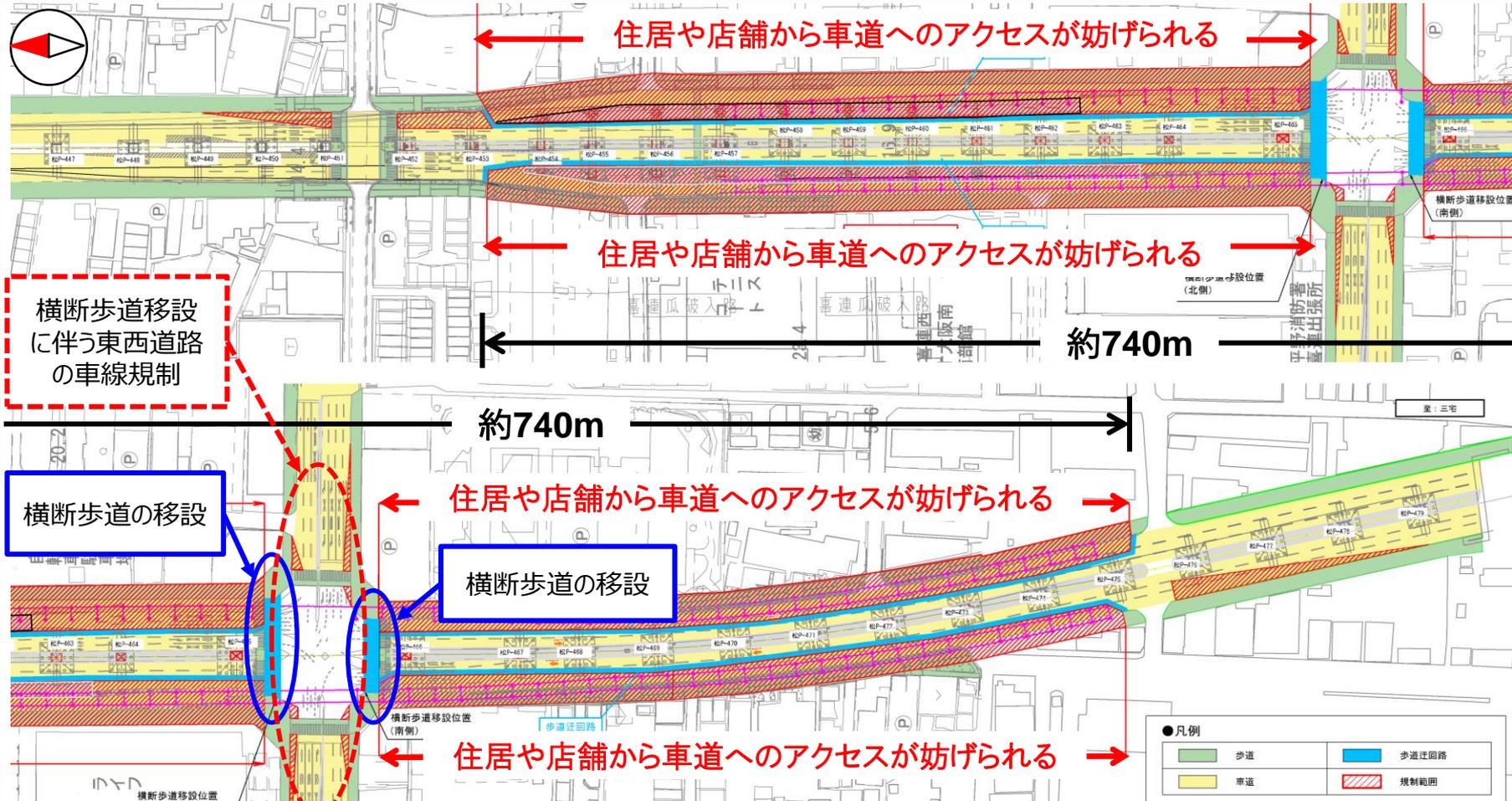
http://www.zenken.com/kensyu_annai/H17/kousyu_511/ko511_09.html

① 迂回路案（迂回路構築・撤去期間）：約7年6か月（平面図）

工程

2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
1Q 2Q 3Q 4Q											
準備工		迂回路構築工						架け替え			撤去工

平面図・断面図



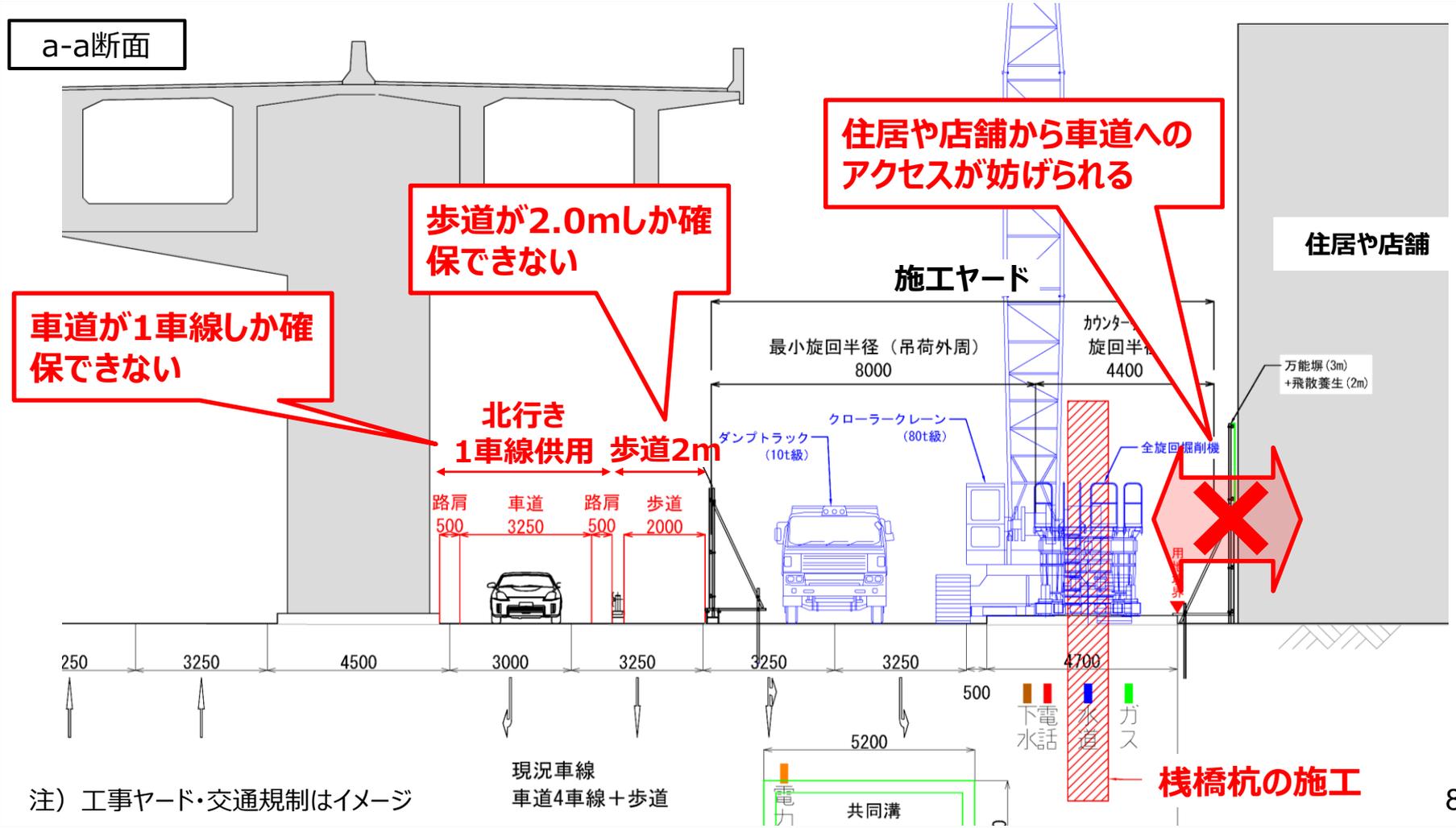
注) 工事ヤード・交通規制はイメージ

① 迂回路案（迂回路構築・撤去期間）：約7年6か月（断面図）

工程

2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
1Q, 2Q, 3Q, 4Q											
準備工	迂回路構築工						架け替え			撤去工	

平面図・断面図



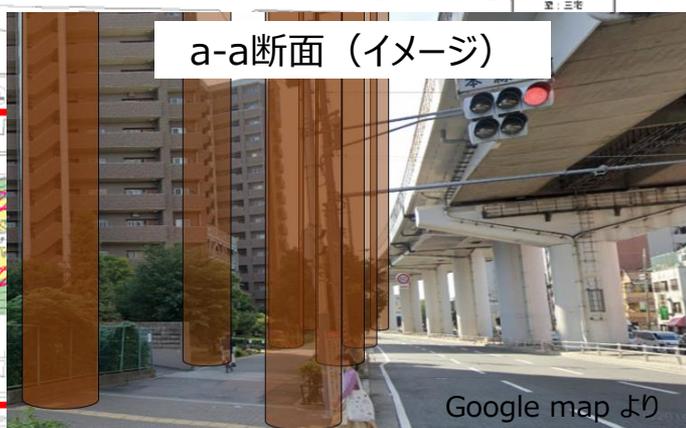
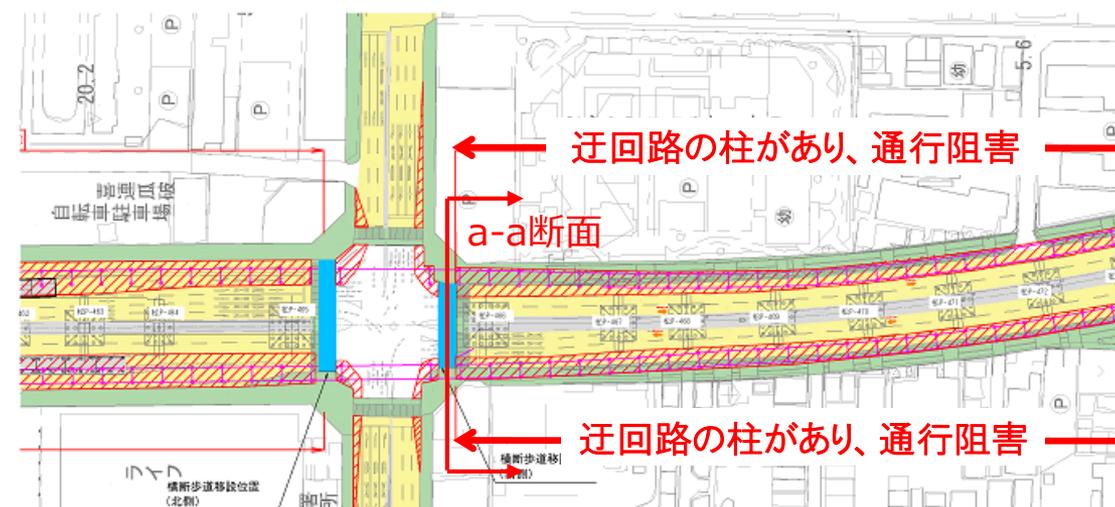
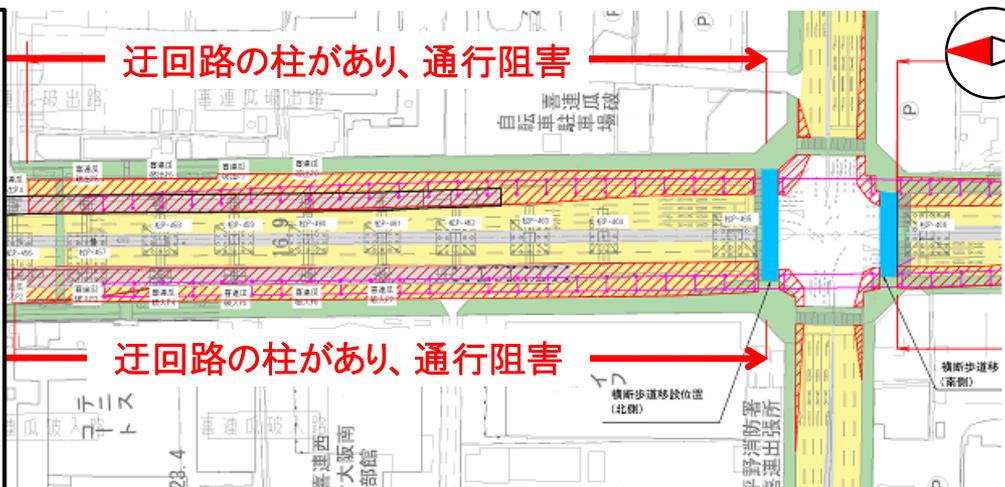
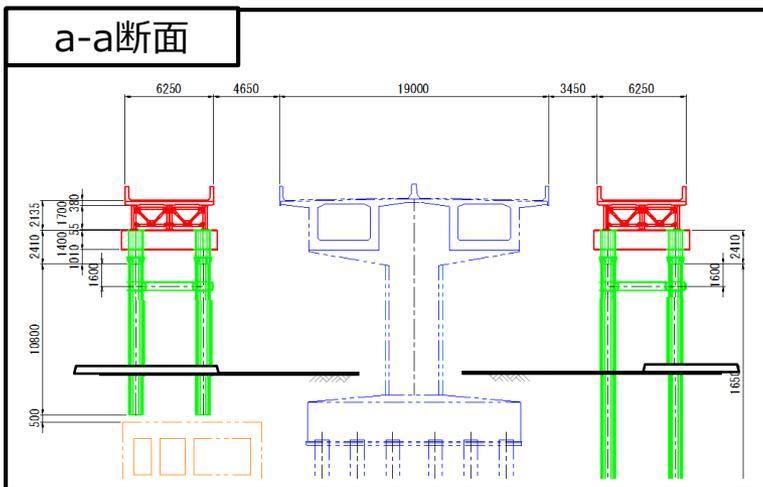
注) 工事ヤード・交通規制はイメージ

① 迂回路案（架け替え期間）：約3年（平面図）

工程

2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
1Q, 2Q, 3Q, 4Q											
準備工	迂回路構築工						架け替え			撤去工	

平面図・断面図

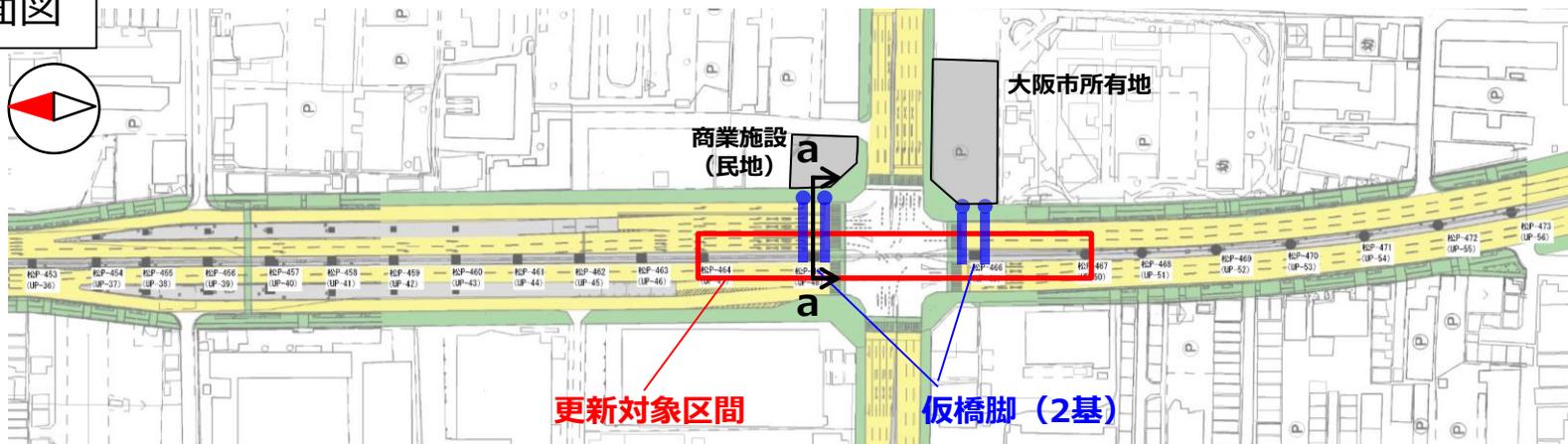


注) 工事ヤード・交通規制はイメージ

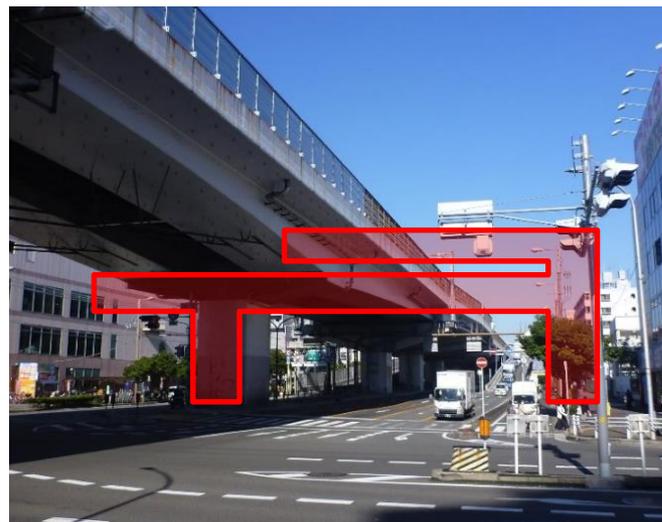
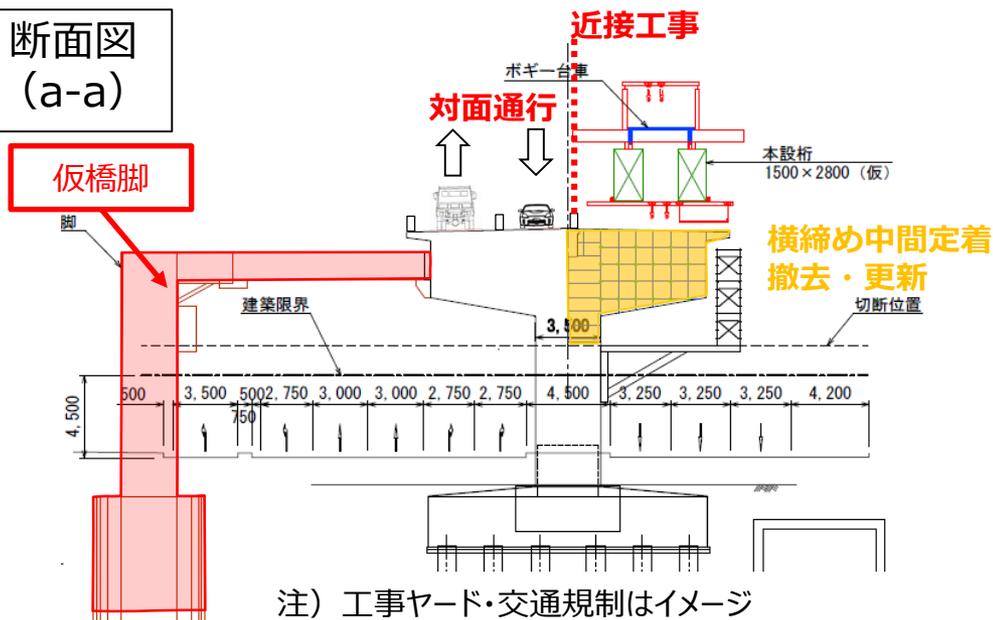
②半断面施工案の概要

○交差点南側・北側の歩道部及び側道部に**仮橋脚を設置**し、半断面を通行帯（片側1車線の対面通行）として利用しながら、**半断面ずつ撤去・更新**する。

平面図



断面図 (a-a)



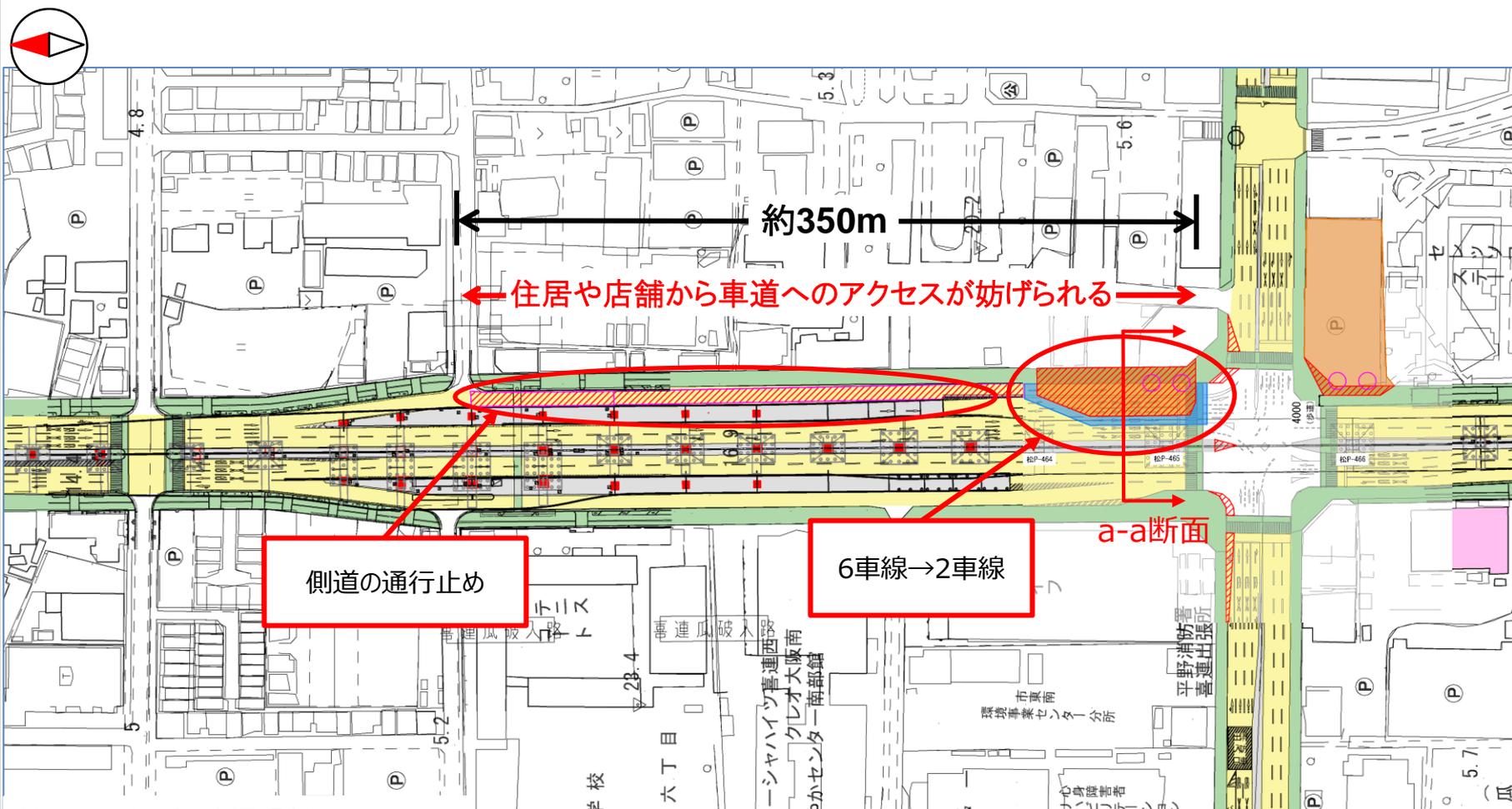
商業施設に近接する仮橋脚のイメージ

② 半断面施工案（仮橋脚構築・撤去期間）：約2年（平面図）

工程

2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
1Q 2Q 3Q 4Q										
準備工	仮橋脚構築工	北行き 架け替え				南行き 架け替え				撤去

平面図・断面図



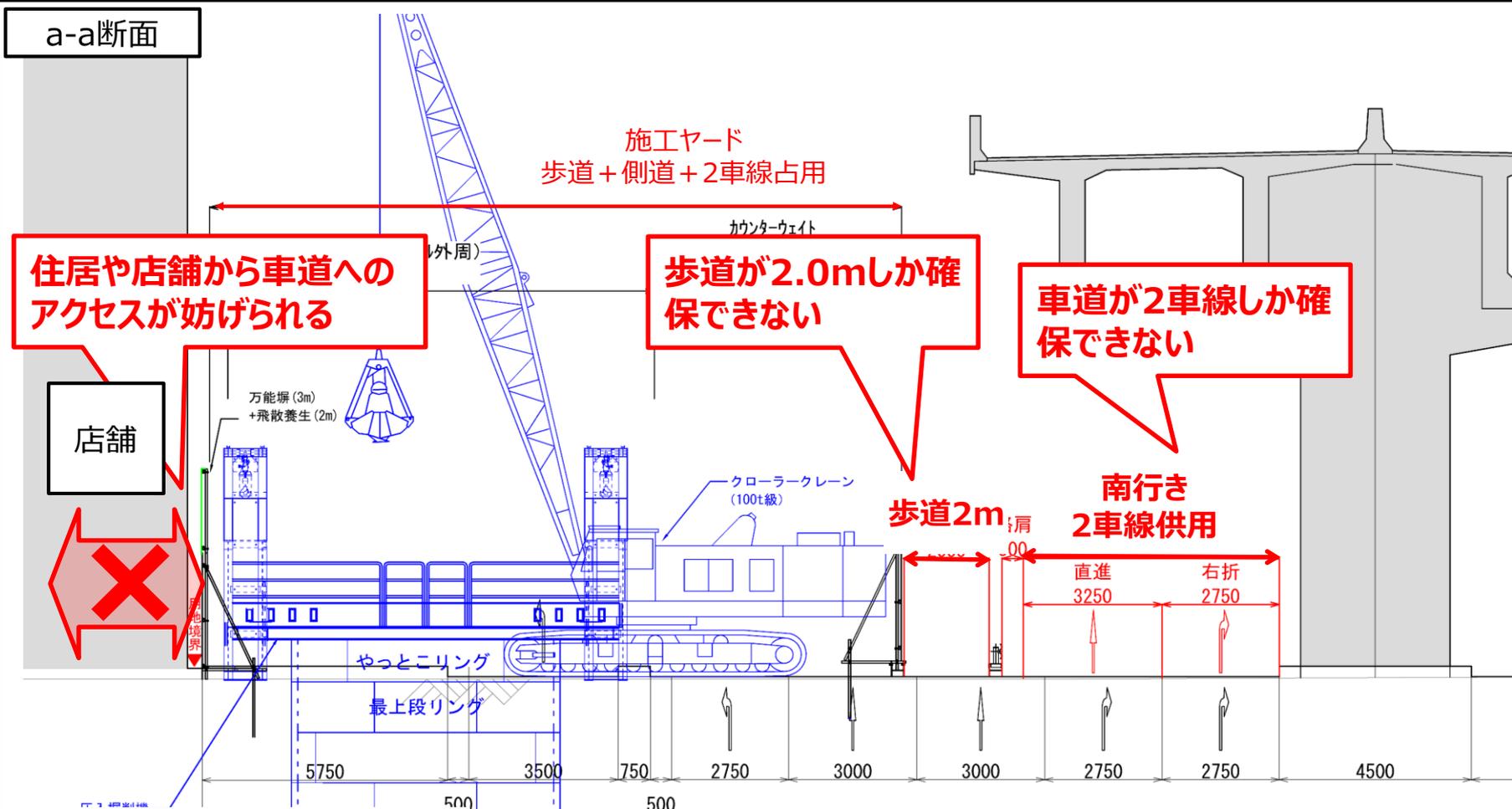
注) 工事ヤード・交通規制はイメージ

② 半断面施工案（仮橋脚構築・撤去期間）：約2年（断面図）

工程

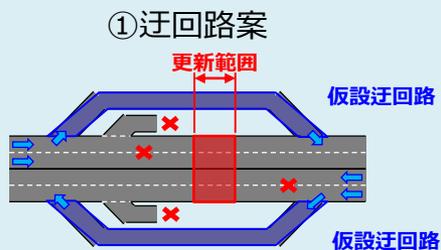
2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
1Q 2Q 3Q 4Q										
準備工		仮橋脚構築工		北行き 架け替え			南行き 架け替え			撤去

平面図・断面図

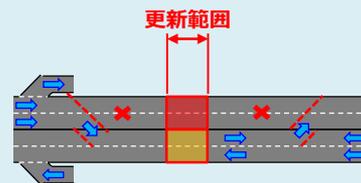


注) 工事ヤード・交通規制はイメージ

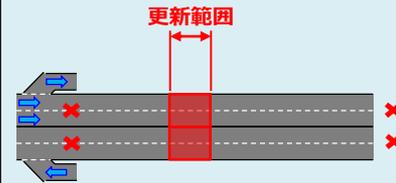
55000



②半断面施工



③通行止め



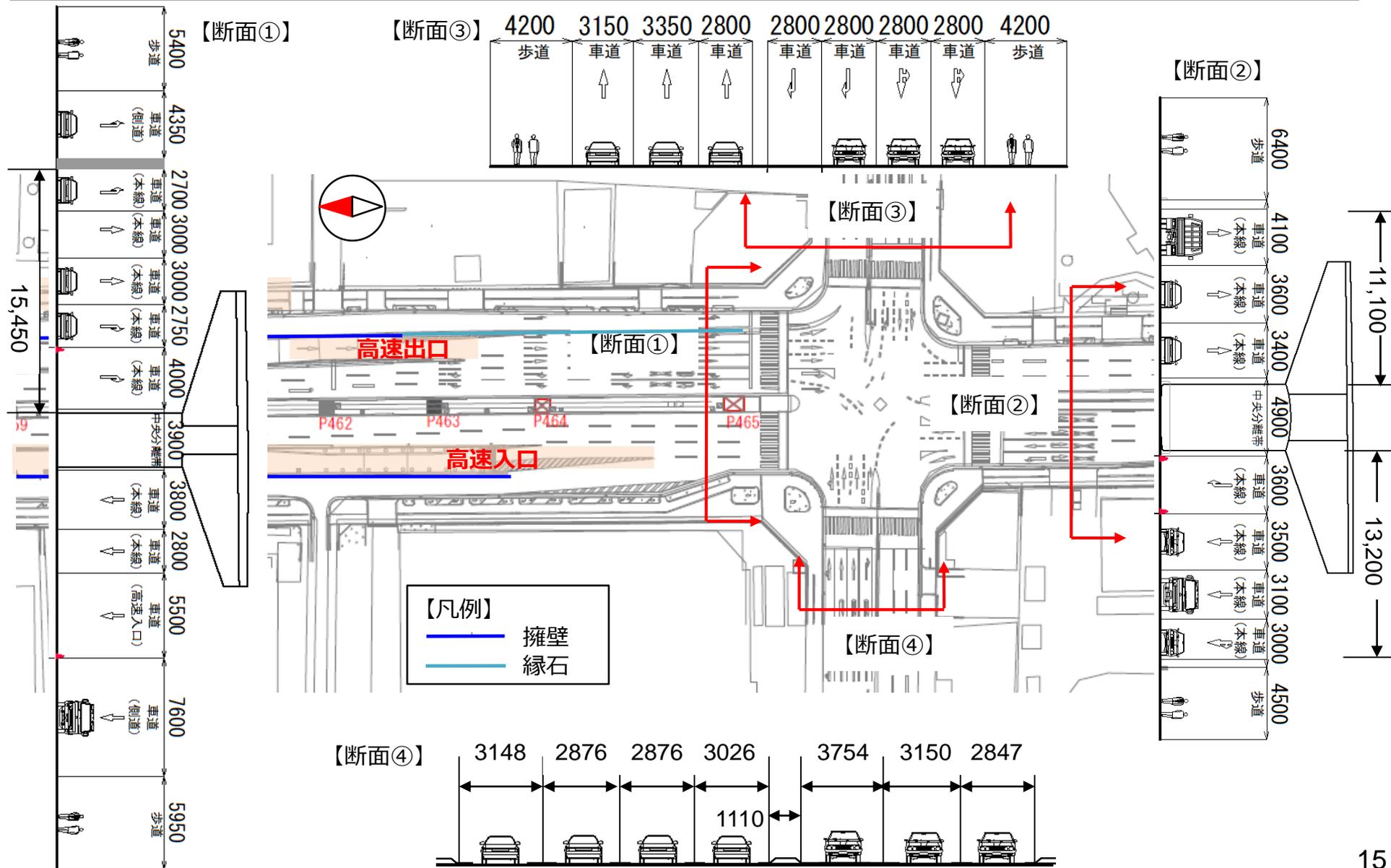
施工案		構築／撤去	架け替え	構築／撤去	架け替え	架け替え
期間		6.5年／1年	3年	1.5年／0.5年	7年	2.8年
沿道 （住居・店舗）	影響	約740mにわたりR479(内環状線)東側西側の住居や店舗から車道へのアクセスが妨げられる。	迂回路の柱が10m間隔のため、車道からの侵入が阻害	約350mにわたりR479(内環状線)東側の住居や店舗から車道へのアクセスが妨げられる。	側道が通行不可となるため、住居や店舗から車道へのアクセスが妨げられる。	街路形態は現状通り
	対策	歩車道との仮設出入口を切り替えながら使用	必要に応じて車道との出入口を仮設置	細街路への迂回	細街路への迂回	/
	課題	アクセス不便さは残る	アクセス不便さは残る	利便性の低下	利便性の低下	
歩行者・自転車	影響	約740mにわたりR479(内環状線)東側西側の歩道が施工ヤードとなるため通行不可	歩道に迂回路の柱があり、通行及び視認性に支障	約350mにわたりR479(内環状線)東側の歩道が施工ヤードとなるため通行不可	仮橋脚付近で、幅員が5.75m→3.2mと狭くなる。仮橋脚付近で視認性が阻害される。	街路形態は現状通り
	対策	車道部に仮歩道を設置	/	車道部に仮歩道を設置	/	/
	課題	仮歩道の幅員が2.0mしか確保できない。		仮歩道の幅員が2.0mしか確保できない。		

【目次】

1. 地域影響について（沿道、歩行者・自転車）
2. 交差点概要図
3. 各工法の工程比較

2. 交差点概要図 (瓜破交差点)

○ 瓜破交差点は、下図に示す通りレーン運用となっている。工事に伴う交通影響を抑制するために、喜連瓜破付近の道路改良について関係機関と協議の上、必要な対策の実施を今後検討。



【目次】

1. 地域影響について（沿道、歩行者・自転車）
2. 交差点概要図
3. 各工法の工程比較

3. 各工法の工程比較

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	
	1Q,2Q,3Q,4Q	1Q,2Q,3Q,4Q	1Q,2Q,3Q,4Q	1Q,2Q,3Q,4Q	1Q,2Q,3Q,4Q	1Q,2Q,3Q,4Q	1Q,2Q,3Q,4Q	1Q,2Q,3Q,4Q	1Q,2Q,3Q,4Q	1Q,2Q,3Q,4Q	1Q,2Q,3Q,4Q	1Q,2Q,3Q,4Q	
案① 迂回路（栈橋形式） （事業許可時） 約12年	準備工		迂回路構築工					架け替え			迂回路撤去工		
高速規制状況					規制なし				対面通行		規制なし		
街路規制状況					片側1車線通行								
案② 半断面施工案 約10年	準備工		仮橋脚構築工	北行き 架け替え			南行き 架け替え			仮橋脚撤去工			
高速規制状況			規制なし	対面通行						規制なし			
街路規制状況			北行2車通行 南行1車通行	片側2車線通行						北行2車通行 南行1車通行			
案③ 通行止め 約4年 （本線通行止め：2.8年）	準備工		架け替え			<div style="border: 2px dashed blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 大阪・関西万博 2025年4月13日～10月13日 </div>							
高速規制状況			通行止め										
街路規制状況			規制なし										

凡例：

高速本線の施工
街路の施工